



# 全大教女性部総会に なぜかオイラが参加してきたよ



全大教女性総会に参加してきました。

2月4日ラポール日共済において第19回女性部総会が開催されました。男女雇用機会均等法から21年、男女共同参画社会基本法から6年経ちました。その頃から比べれば女性に対する職場での認識は変わってきていますが、見渡してみれば、まだまだ女性への偏見が消えているともいえず、女性の昇格などについてはまだまだ低いようです。また、近年では定員削減のあおりを受け、非常勤で雇われている方を多く見受けられますが、その多くが女性です。非常勤職員(定員外)の方の労働条件は決してよいとは言えません。また、女性が多く、労働条件の劣悪な職場として看護師の例も挙げられます。今、大学は多くの女性労働者の活躍によって運営されているのも事実です。そんな女性の職場の労働条件を改善していこうということを中心に、女性部総会で提案がありました。

いやぁ、参加者は全員女性だったんだけど(全大教委員長と担当中執は男性)、不満や要求は皆溜まっているのよね。開始早々、質問や意見の応酬でした。よく「おばちゃんパワー」なんて言って、おばちゃんの井戸端会議の「激しさ」や、買い物するときの値切りの「粘り」なんかをテレビで見るけど、それがそのまま女性部総会に名称を変えただけで感じて、オイラはビックリしました。それだけ真剣な議論になっていたってことだよ。ただ、女性部って職種も様々で、年齢も様々。それに専門的な問題については、それぞれの部会(例えば定員外職員部会や看護師部会)で検討しているので、女性独自の要求ってのは難しいんだよね。だから女性部ってのは、各部会の女性問題についての運動を引っ張っていく部会でいいんじゃないかなとも思いました。



ただ、女性ってのは「強い」と改めて思いました。男職場もこのままじゃ危ないぞ!!  
詳しくは全大教新聞でも見てください。

## 編集者のぼやき

女性部総会の後、昔の仲間(旧全大教青年部常任)で同窓会をしました。僕も常任を降りて3年になりますが、なかなか昔のメンバーと会う機会がなく、突然の「久しぶりに会ってみようか」との声掛けで、みんな集まってしまいました。昔を懐かしみ「常任委員会形式」で話をし、夜も遅くまで語り合いました。やっぱ若いうちに知り合い、共にやってきた仲間っていいね。この会に麻生@東大さんの息子「ひで君」も参加し、

ちょっとした癒しになりました。また、このひで君、乾杯をした後にあごを撫でる(お猿さんみたいに)が、今の流行のようです。今度何かの機会に、オイラがこの乾杯をお見せしますね。



熊本大学教職員組合青年部機関紙  
やまくら～ズ 発行 No.25 2006/02/14